

# みうらトーク&トーク 平成22年度第1回

日 時 平成22年4月20日(火)  
15時00分～16時00分  
参加者 全国海友婦人会三崎支部・三崎黒潮会 20人  
テーマ 「港町活性化について他」



開会あいさつ後、市側出席者の紹介を行った。その後、意見交換を開始した。

## <意見交換>

**市長**

それではトーク&トークを始めさせていただきます。

まず、三浦市の漁港関係の予算を、職員から簡単に説明させていただいて、現在の取り組みをご理解いただければと思います。

**職員**

本日のテーマと関連して、ポートセールス、漁港関係の予算を紹介させていただきます。

まず、水産課が所管している予算で、三崎漁港振興協議会への補助金として年間100,000円を計上しています。

船員家族待合所管理事業として3,086,000円。これは委託料だけでなく、一部事務費も含んでいます。

長期出漁船員等福利厚生福祉対策事業として1,360,000円。

また、市場管理事務所関係で、水揚げ(出)港船の対策事業。これは市場に水揚げをした船の関係で、7,054,000円。これは、遠洋船の誘致対策と船員の皆様へのサウナ券の交付、実習船への飲み物の贈呈。7百万円の内訳ではないが、無料給水、1隻あたり30トンまでということを行っています。

**市長**

三崎漁港は特定第三種漁港として、国の指定する全国13の漁港のうちの1つです。三崎漁港の特定第三種漁港としての漁港活用の件というのは大きなテーマになっています。二町谷の埋立地に地元の水産加工業を集約させたり、海外の船を誘致することなどを目的として、埋め立てがされました。ただ現在は厳しい状況

です。多目的利用を図るということで、県の東部漁港事務所が「魅力ある港づくり」の素案を作りましたので、港の機能だけでなく、観光も視点に入れた機能の集約化に取り組んでいきたいと考えています。海業という言葉がありますが、漁業・水産・観光などをリンクさせた動きも併せて行っています。

三浦市は漁港で栄えた都市ですが、従来の状況ではなく、危機感を持っています。ぜひ皆さんから「こうした方がいい」などのご意見をいただきたいと思います。以前からお風呂を作ってほしいというお話はうかがっていますが、他にもご意見ををお願いします。

**市民** 私たちは婦人会三崎支部だけではなく、全国海洋婦人会と全日本海員組合も全国組織なので、組合・港町の活性化、港町に若い人を住ませ、育てていくということを目指して、組合がこの 4 月から動いておりますので紹介します。

**市民** 本組合としては 3 月 1 日海員の総決起集会を開催しました。この中で、水産業としては港町の活性化、水産業・観光・交流・誘致、船員の住む港町ということで活動をしています。風光明媚な地方において水産物など魅力のある特産物、外国人を含め誘致を図るという活動を展開しています。

先ほど市長の話にあったとおり、魅力のないところに人は集まりません。こと水産に関しても、船の無いところに人は集まりません。それを重視して活動をしていければと思っています。

若年船員の確保のため、小中学生を対象に船の魅力を分かってもらうため東京湾フェリーを借りて体験乗船を行いました。小さい子供が海への興味を持たなければ人は集まらないのでそういう活動も展開しています。この活動は婦人会と共に政府にも訴えています。

**市民** 現在の問題は 2～30 年前から言われていたとおりになっています。これを一気に解決する方法はありません。漁業だけに頼らないと市長が言いましたが、確かにそうです。漁業と観光を併せる形がいいのではと思います。

観光といっても三崎の観光は、店も無い。うらりの 2 階にも無い。不思議です。あそこから手をつけたらと良いと思うのですが。

**市長** 施設を作るときの課題がありました。魚食普及をコンセプトに当時、食堂をやろうとしたようですが、地元の商店街のご意見などもあり、食堂は作らないことになったようです。商店街の活性化を含めた観光客の誘致策が講じられなかったのが現実です。

ただ、あの 2 階のスペースで食事ができることは必要だと思っています。ただ合

意点が見えていません。例えば商店街の人がお弁当を作って販売するのはどうかと投げかけたこともあります。観光ボランティアの方が町を紹介している中でも、そのお客さんたちの 7 割が、「うらりで食事ができないのはおかしい」と言っているようです。

**市民** 「人の流れをつくる」と市長は言いましたが、そのための案として、横のつながりを作る、ということが必要だと思います。私たちから見ると、現在は「うらりだけ」という感じです。もっと地元根付いたもので作るべきだろうという気がしています。

湘南丸のコックさんが作るカレーやおでんがとても美味しいです。学校以外では提供したことが無いそうなので、花暮岩壁などで観光客を花暮まで持つてくるために船上の食堂をやってみませんかという話をコックさんとしました。他の地域でも、そういう事例があり、出来ないことはありません。

また、懸念として水産高校の母港を横須賀に持っていくという話も耳にします。そうさせないためにもそういう提携をして、横の繋がりを持って、みんなで取り込んでやるということが必要だと思います。そういう工夫をしていただけませんか。そういうときは我々もボランティアで協力します。「流れをつくる」というのであれば、そこまでやるべきだと思います。

**市長** 今、港町の活性化がコンセプトですが、三浦の場合にはグルメの視点は極めて大きな武器です。併せて、駐車場の問題やボードウォークの延長などの取り組みの準備をしています。

漁船の誘致に関しては、今は漁船の誘致はなかなかできていません。

船員の福利厚生については、できる限りのことはしようと思っておりますが、すべて厚くできているかというところも言えません。湘南丸に食堂というような話は良い案ではないでしょうか。湘南丸が横須賀に行くという話は全く知らなかったです。

**市民** その話は 7～8 年前にありました。

**市民** その後、2 回くらい浦賀のドックに入れました。試験的だと思いますが。

**市民** 3 年前までは入らなかったです。

**市民** 県も予算が大変なので、1 回あたりどっちの方が安いのかということも計算しているのではないのでしょうか。先に市の PR をしておく方がいいかと思います。

**市長** 湘南丸の横須賀（母港化）は、政治生命をかけてもさせない考えです。

**市民** それと、船員はお風呂にこだわるので、魚市場の 7 階に風呂桶を置けないでしょうか。7 階に立派なシャワールームがあるので、そのシャワーを 2 つ位潰せば桶（湯船）さえあれば出来ると思います。余った風呂桶でも。今は割引券でクアーズまで行っていますが、夏は汗をかいてしまうし、冬は湯冷めしてしまいます。

**市長** 魚市場の 7 階に桶だけ置いても、サンポートの方が広くて綺麗なのでは。

**市民** あれは基本的には船員保険に入っていて、船員手帳を持っている人しか使えません。なので、実習船の人にクアーズの券を渡すのなら水道代くらいは出るのではと思うのですが。

**市長** ニーズがどのくらいかということもありますし、一度検討させます。

**市民** シャワーは昔からあって、入港したら集団で使っていた。私は風呂桶無しでも十分に役に立つと思う。だから魚市場にそういうものがあるということ看板を出して、誘導する。汗と油だけ落とせばそれで皆蘇りますから。

**市民** 私たちの待合所にも 7 階にシャワー室があるというチラシは全部つけています。でも「シャワーだけか」と言われます。やっぱり湯船にゆっくり入りたがります。OB さんはいかがですか。

**市民** 入りたいですね。

**市民** 三崎のマグロ船がなぜ入ってこなくなったかという原因の考え方ですが、道路・水産土木技術・時代の流れなどがあります。マグロを食べるシャチを獲らないといけないということもある。

**市民** それは国際的な問題だからここで論ずるのはやめましょう。

**市民** それから、海を取り入れた観光や中国人向けの観光パンフレットもいいのでは。

**市長** ありがとうございます。他には何かございますか。

市民 漁船の誘致について、具体的に今は取り合いとかはありませんか。

市長 取り合いになるような状況には至っていません。

市民 ということは、市からはアピールしていないということですね。  
そうしたら、今いる船は大事にした方がいいです。初めて入港する船ですから。船の方から私のところへ「どうすればいい」などの連絡が来ますが、新しい管理事務所長になったということですし、ぜひ繋がりを作っていただきたい。そうすれば市への心象が良くなるのでは。

市長 分かりました。

市民 私どもも市の漁港を使ってほしいということで、待合所を使わせていただいて、船の出港前に皆さんに具だくさんの味噌汁を作ったり、インドネシア人の方にはスープを作っています。あと、港町の活性化ということで、うらりの 2 階の回廊を使って 5 月 14 日から 16 日まで船員さんの撮った写真の写真展を開催するので手伝いをしています。そういうことにもまたご協力をいただければと思います。

市民 下町にスーパーがなくなったことについても、何か対策ができればいいのですが。後は下町マップがありますが、店が抜けていたりして中途半端なところがあります。作るなら全体で作るなどした方がいいのでは。

職員 マップは会議所が作っていますので、ご意見を伝えさせていただきます。

市長 スーパーの件はお答えしようがありませんね。

市民 どうしても店が無いと横須賀に流れがたって、人が集まらないし、発展しないですよ。

市民 観光客として感じたことが 2 つあります。  
1 つは、うらりから城ヶ島までの通船（渡船）。それが 5 分もしないで着いてしまう。なので通り矢を見せながら、古い船着場を見せてぐるっと回るといった方法もあるかと思います。  
もう 1 つは、ソレイユで売っている直販の野菜が三浦より安いということです。

市長 今度横須賀の長井で直売所を作ります。観光振興策は他市よりも力を入れていま

す。ただ、今いただいたような個々の事例というのは、まだ気付かない点があるので、こういった時にご指摘いただくのは大変参考になります。

市民 城ヶ島の方はもう少し活性化しないでしょうか。

市長 城ヶ島観光協会の方で一生懸命やっていただいて、市とも連携しています。

市民 あとはトイレですね。

市長 トイレは2つしかないのので、商店街にも協力を要請しています。ただ、新しく建てるには 5,000 万円程度必要になってきます。  
いずれにせよ、港町の活性化としては港町的情绪や風情を残しながら昭和のイメージを前面に出して観光客を呼び込もうという策で進めています。

市民 それに伴って、歴史資料館のようなものがいまだかつて無いです。お金のあまりかからない程度で作れないでしょうか。

市民 社会見学で小学生も魚市場の見学にたくさん来ているので。

職員 資料を置いてもいいです、という場所があります。

市長 マグロ博物館のようなものをイメージしているんですが、課題です。  
箱モノは作れないので、何かと抱き合わせでできればと考えてはいます。  
すぐにやるということは言えませんが、将来の構想の中には入れていきます。

市民 それから、カツオ船の誘致を官民一体となってやってもいいんじゃないか。

市長 ありがとうございます。それでは時間も来てしまったので、また経済振興部にご意見などいただければと思います。

※ 公表については了承を得ております。